



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

創刊号

MELDIA SPORTS

こうして僕は
プロになった。

支援選手からプロへ

リーガー

田中 聡

RIZAP RIZAP

PENALTY

たのしめてる

[スペシャルインタビュー]

JFA 古賀琢磨

湘南ベルマーレプロ契約内定

原 直生

MELDIA
三栄建築設計



田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。



田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。



田中聡は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。



田中聡=たなかさとし= (写真)
長野県長野市出身。2002年8月13日生まれ。湘南ベルマーレトップチーム所属。ポジションミッドフィルダー。2種登録された2020年に若干18歳にして、Jリーグ初出場を果たす。

インタビュー
鷺坂浩章=さぎさかひろあき=
静岡県出身。湘南ベルマーレにてインターン後、一般財団法人メルディアにて青少年スポーツ支援担当をしている。田中選手は自身が担当した初めての支援選手である。

2021.4.10 サンフレッチェ広島戦
アウェイにてプロ入り後初ゴールをきめた。サポーターと喜びの一枚。
同郷でもある、同じく支援選手の前選手と一緒にサポーターに挨拶。



写真提供=湘南ベルマーレ



My Football Life. 田中聡

インタビュー=鷺坂浩章 文=竹中玲央奈 写真・構成=メルディアグループTwitter中の人 (編集部)

高校生でトップリーグへ。奨学生プロ第1号・田中聡 (湘南ベルマーレ)



長野を出て、湘南ベルマーレユースに。芽生えた自覚

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。



恐れずに、トップチームで勝負する

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

田中聡：僕は、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。田中聡は、2020年5月に、湘南ベルマーレとプロ契約を結んだ。その時の様子を振り返る。

地元・長野を離れプロの世界へ。 覚悟を決めた原直生の挑戦



湘南ベルマーレプロ契約内定

原直生

HARA NAOKI

インタビュー・文=竹中玲央奈 構成=メルディアグループTwitter中の人(編集部)

地元・長野を離れプロの世界へ。覚悟を決めた原直生の挑戦——
J1リーグ・湘南ベルマーレのアカデミーに所属する高校3年生、原直生選手。今シーズンは特別指定選手にも認定され、3月2日に行なわれたJリーグYBCルヴァンカップGS第1節浦和レッズ戦でトップチームでのスタメンデビューを果たしました。地元・長野を離れ湘南ベルマーレ入りを決断し、高校1年時からU-18で活躍。着実にステップアップを果たしている原選手の半生、今後のビジョンへ迫ります。

メッシを見て培った 攻撃力で勝負。

「まず、サッカーを始めたきっかけを教えてください。」
原…兄も所属していたFCCEDACというチームが隣の幼稚園にサッカーを教えに来ていて、「やってみれば」とコーチに声をかけていただいたのがきっかけです。
小学生・中学生時代の大会の成績はどうでしたか？
原…1年生のころから上級生の試合に出させてもらっていました。中学3年生時に全国大会クラブユース選手権に出て、柏レイナルへガルト仙台・太陽スポーツと対戦しました。

強みは、選択肢の多さ。 積極的に得点に絡みに行く

「その後、湘南ベルマーレU18へ加入することになります。長野から湘南へ行くことになった経緯は？」
原…FCCEDACの先輩がベルマーレの練習に行く時に、監督から「直生にも声が掛かっているから行ってきな」と言われたのがきっかけです。
練習参加をしてみても手応えはありましたか？
原…ミニゲームをやったんですけど、スピードが速くて、みんな前を向いたらゴールを一番考えてプレーしていると感じたのが印象に残っています。
地元・長野から離れて平塚での寮生活が始まります。1人で地元を離れることに對して不安はなかったですか？
原…不安はありませんでした。ただ、親にも「迷っているなら、行くか決めてやう」と方が覚悟は決まるよ」と言われて、行くことを決めました。



「昔から飛び級で試合に出ていたというところで能力は突出していたのか？」
原…守備は全くせず、攻撃メインの選手でした。父がメッシ・FCバルセロナのファンというところもあって、前線ボールを受けてドリブルをするのが、ゴール前のシートの小さい時から教わっていました。楽しかったですね。
「フィジカルの差を感じたことはありますか？」
原…攻撃では相手と距離を取りながら、自分の距離でプレーしていました。体格差で苦労した記憶はなくスピードで勝負できていましたね。

「本格的に平塚での生活が始まって、生活面も含めていかがですか？」
原…まず、練習参加した時と監督が代わったタイミングで。監督が代わった時、いろんな監督なのかも分からなかったけど、攻撃面での要求が多く、ボールを持った時のプレーは通用すると感じました。守備は他の選手に比べても全然できていなかったから、壁にぶつかって。私生活では洗濯など身の回りのことが面倒くさいなと思う時はあります(笑)。他にも寮生がいるので、先輩を見習ってやるようにしていました。

トップチーム昇格！ 守備力を高めたい。

「明確にプロサッカー選手を目指したのはいった頃ですか？」
原…親にプロ選手のプレーをずっと見させてもらっていたので、小さい頃からプロとしてサッカーができればいいなと思っていました。

「3月2日に行なわれたJリーグYBCルヴァンカップGS第1節浦和レッズ戦でトップチームでのスタメンデビューを果たしました。スタメンで試合に出て感じたことはありますか？」
原…トップの選手は試合前の準備から入念にやっていて、気合いの入れ方も違

うなと感じました。試合中はボールが来たから自分のプレーをしようと思っていましたが、トップの選手は高校生よりはるかに寄せが早い。チームとしても守備の時間が長かったので、思うようにプレーできなかったです。プロのレベルを痛感して、もっとやらないといけないと感じました。
「トップチームでの試合を経て、普段の練習に取り組み意識などは変わりましたか？」
原…U18の練習に戻った時に甘くなってしまうことはダメだと思っています。課題のスプリントは意識して取り組むようにしています。スタップも指摘してくださるので、スイッチを入れ直させています。

「湘南ベルマーレユースで得られたものや成長できた部分はありますか？」
原…まだ成長途中ですが、守備の強度をもっと高めていかなければいけないなと。生活面では、先輩にだらけた姿を見せないように自分に厳しくしたり、人前で喋るようになり、寮生活の中で成長できた部分も大きかったかなと思います。
「最後に今後の目標を教えてください。」
原…チームとしては、クラブユースに出るという目標があったんですけど優勝してしましました。なのでリーグ戦で優勝して、下の代を少しでも上のリーグで戦わせたいのが3年生としての目標です。またトップチーム昇格があると1、2か月で決まるので、トップチーム昇格を掴むのが近い目標です。将来的には日本代表としてプレーしたいです。
※インタビュー後、原選手がトップチーム昇格が決定しています。

「昇格決定後コメント」
TOP昇格への意気込みは、まず少しでも早くスタメンで試合に出て点を決めることを目標としてやっています。1回1回の練習を大切にしながら個人的に足りないと思う事などは自主トレでやり、自分に厳しく周りの人への感謝や恩返しも忘れずにやっていきたいと思っています。



「3月2日に行なわれたJリーグYBCルヴァンカップGS第1節浦和レッズ戦でトップチームでのスタメンデビューを果たしました。スタメンで試合に出て感じたことはありますか？」
原…トップの選手は試合前の準備から入念にやっていて、気合いの入れ方も違

写真提供=湘南ベルマーレ

日本サッカー協会（JFA）との取組み

子どもは小さな大人ではなく、年齢に比例して一直線に成長していくわけでもありません。特に我々が向き合う中高生も多感な時期であるが故に様々な障壁にぶつかります。その障壁をどうやって乗り越えるか、これもまた個々に異なるアプローチが必要となります。まずは選手自らが考え、行動し、問題を解決する力を養うことが重要です。
しかし事実として自らの力で乗り越えられぬ課題も多く存在します。その中で、我々の趣旨を理解し、経済的な悩みを抱える選手のサポートに乗り出してくれたのがメルディアさんです。
自らの力で解決出来ない課題に直面する選手に対し、我々大人が寄り添ってその課題解決に対し手を差し伸べる。私も指導者としてそんな距離感を大切にしていきたいです。

JFAアカデミー福島
WEST
男子サブチームコーチ
古賀琢磨

「日本サッカー協会100周年表彰」を受賞！

2021年9月に、当財団の青少年スポーツ支援事業の日本サッカー界への貢献が認められ、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）から「日本サッカー協会100周年表彰」における「各地域での活動を含めて日本サッカー界に多大な助成や支援、協力を頂いた個人及び団体」として、感謝表彰を受賞いたしました。これからも真剣にスポーツに取り組み青少年の夢を支え、一人でも多くの青少年の夢が叶うよう支援に邁進してまいります。





一般財団法人メルディア Meldia Foundation

当財団は、障害のある方を支援する活動と、スポーツ（サッカー等）を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献する目的を達成するための事業を行っています。

青少年スポーツ支援事業

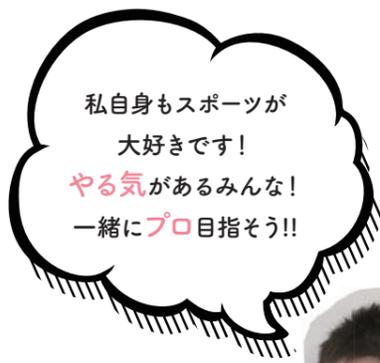
家庭の事情等で経済的に恵まれない青少年のための奨学制度

一般財団法人メルディアは、2017年5月に代表理事である小池信三の呼びかけのもと、青少年スポーツへの支援や障がい者支援を通じて、広く人々と社会に貢献する目的で設立されました。
青少年スポーツ支援も障がい者支援も未来に向かって真剣に取り組む方々を支援対象としています。
青少年スポーツ支援の目的は、様々な家庭の事情からプロを目指すだけの才能がありながらその道をあきらめざるを得ない青少年が、その夢を継続できるよう支援することです。

2018年4月の支援開始から毎年選考会を行い、数多くの選手を支援してまいりました。4年目となる2021年度は、9名の選手を支援しています。
今までの支援選手の中からはトップリーグで活躍している田中選手や2022年からトップリーグ昇格が内定している原選手が誕生しています。
当財団の支援選手の中から未来の日本代表選手が現れることを期待し、これからも支援を継続してまいります。

支援担当者からのメッセージ

2018年4月の青少年スポーツ支援事業開始から選手への直接支援を担当し、はや4年が経とうとしています。思い返すと様々な選手と面談で話し、様々な悩みを聞き、喜びも分かち合い、私自身も成長させてもらった4年でした。
スポーツに取り組む中で避けて通れない怪我で、リハビリのモチベーションを維持するのが大変だった選手もいました。復帰への不安や、周囲へ迷惑をかけてしまっていると悩みがちです。私も学生時代スポーツをしており、怪我をして試合や練習から長期離脱をした経験があります。自分自身の経験を活かし、少しでも選手達の心が前向きに維持できるようサポートしていきます。私のできる範囲は限られているかもしれませんが、これからも選手達に寄り添ってサッカーに集中できる環境づくりをし、選手たちの心のよりどころになれば良いと思っています。
支援している全員がプロになり、夢を叶えられる訳ではありませんが、支援を受けていた期間のことを、成長に繋がる良い期間だったと振り返ってもらえるように取り組んでいきます。支援を受けることを検討している選手やその保護者のみなさま、まず一度お問合せください。



私自身もスポーツが大好きです！
やる気があるみんな！
一緒にプロ目指そう!!



一般財団法人メルディア
鷺坂浩章



求める人物像

- 1、フットボーラーとして、攻撃的で走る意欲に満ち溢れたマインドを持った者
- 2、情熱的で、チャレンジスピリットに富み、何事にも真摯に取り組める者
- 3、社会の一員として行動することができる者

■申込、選考の流れ



■進捗審査 (毎週)



お問合せ

〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
Tel: 03-5381-3213 mail: org@gf-meldia.com

メルディア青少年スポーツ
支援事業ページ



スポーツ支援事業
Twitter



PRESENT

お申し込みはこちら!

「メルスポ」発刊記念に、支援選手第一号である「田中聡選手のサイン入りポストカード」を抽選で3名様にプレゼント！応募は応募フォームから必要事項を記入していただくと申込が完了となります。プロを目指す選手、保護者の皆様は奮ってご応募下さい。





 **TeamHub**

子どもたちの
試合や記録を
アプリに残そう

新感覚のスコア管理アプリ

チームを支える4つの機能

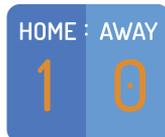
動画・写真共有



成績表



スコア管理



チーム内連絡



サッカー
フットサルに対応

ダウンロードはこちら ▶

チームハブ



App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう

